

DEGAM 鶴岡 ICTアンケート調査概要 (令和4年度総計・同第4四半期)

I 令和4年度(総計)の概況〔図I-①～④〕

- 年代別の割合では、50代が25.4%で前年度と同じく最多となった。また、30代以下の割合(計27.1%)が前年度比で5.8ポイント増加した。
- 居住地別の割合では、前年度との比較で県外居住者が大幅増となった。特に首都圏1都3県(東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県、計27.3%、前年度比+6.8ポイント)、隣県4県(宮城県・秋田県・福島県・新潟県、計31.3%、同+11ポイント)の割合が増加した。
- 一人当たりの予算(宿泊費)については、2万円超の割合(33.2%)が前年度比では減少したものの、当年度では最多となった。
- 旅行期間については、1泊2日の割合(52.7%)が最多となった。前年度との比較では日帰り(13.8%、前年度比+7.4ポイント)及び2泊以上(計33.6%、同+3.2ポイント)の割合が増加した。

II 令和4年度第4四半期(令和5年1月～3月期)の概況〔図II-①～④〕

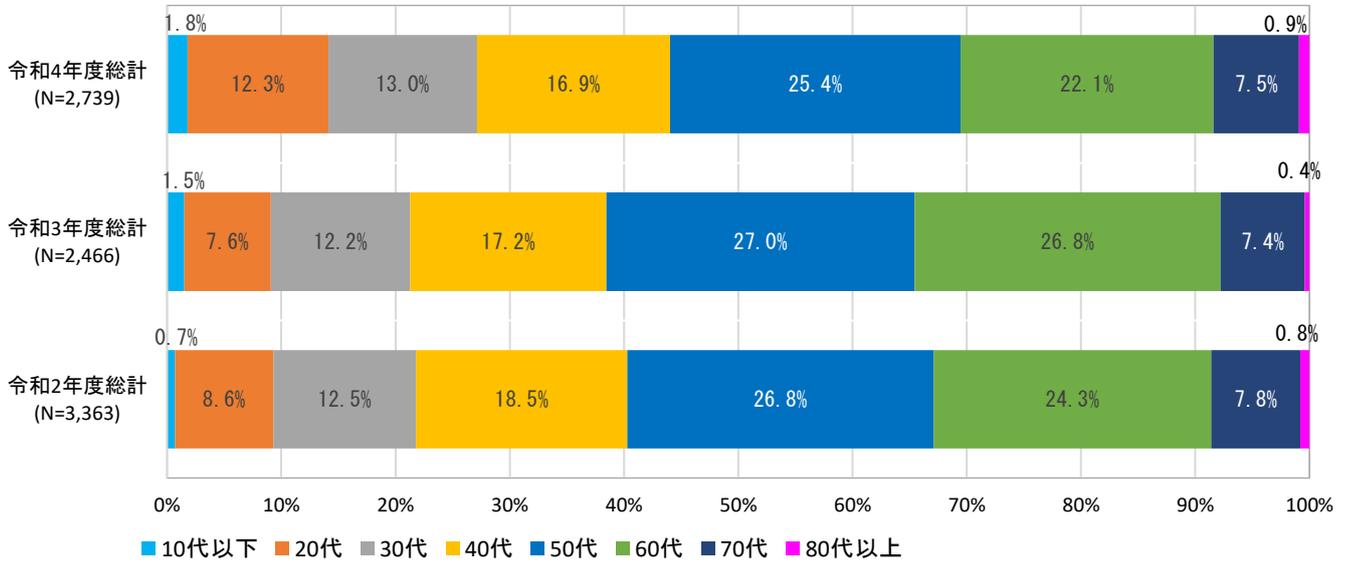
- 年代別の割合では、50代の割合が22.6%で最多となった。また、前期比で20代及び30代(計32.3%、前期比+9.3ポイント)の割合が大幅に増加した。
- 居住地別の割合については、エリア別では山形県(28.3%、同+2.2ポイント)、隣県(秋田県・福島県・新潟県、計23.5%、同+5.5ポイント)の割合が増加した。
都道府県別では、山形県が最多で、次いで宮城県(10.8%、同▲2.4ポイント)、東京都(10.1%、同▲0.9ポイント)の順となった。
- 一人当たりの予算については、2万円超の割合が30.8%(同▲0.1ポイント)で、前期に続き最多となった。
- 旅行日数では、1泊2日の割合が53.6%(同▲1.0ポイント)で前期に続き最多となった。また、前期比で日帰りの割合(17.7%、同+3.5ポイント)が増加した。

【調査方法】 (協力：静岡県立大学渡邊研究室)

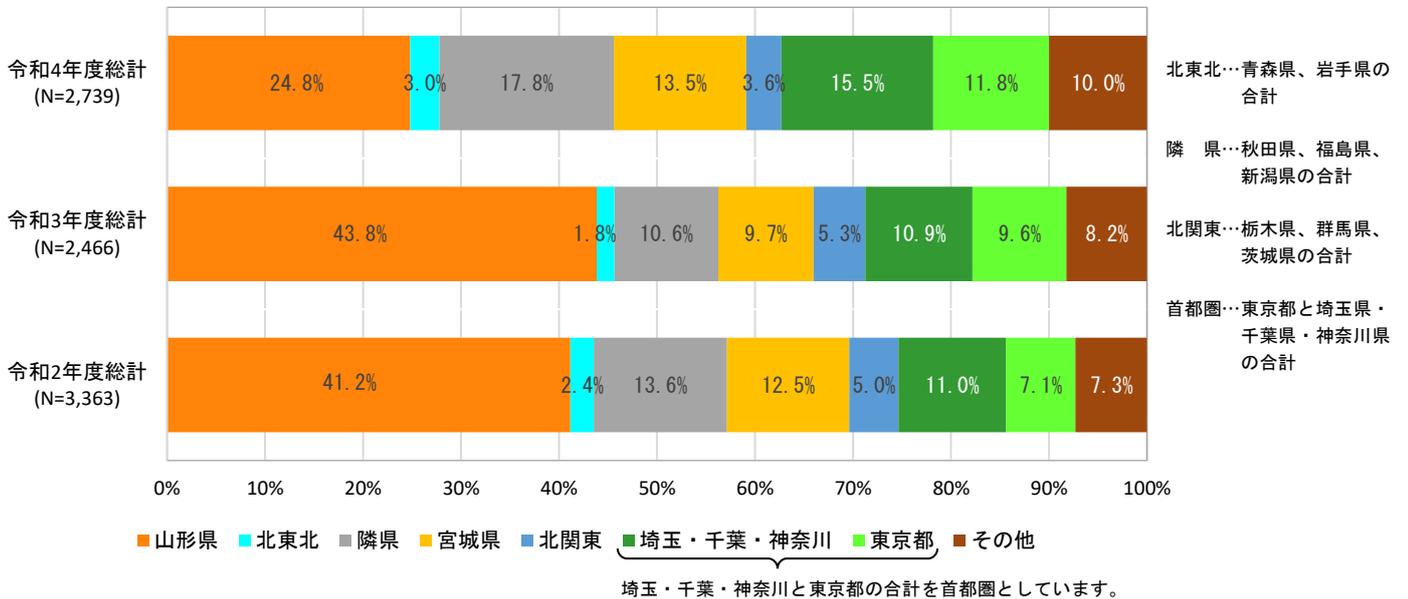
- ・ 宿泊・観光施設等でQR付きカードを送付し、観光客がネット上で回答。

【図表 I】 令和 4 年度（総計）の状況

【図表 I - ①】 年齢（割合ベース）



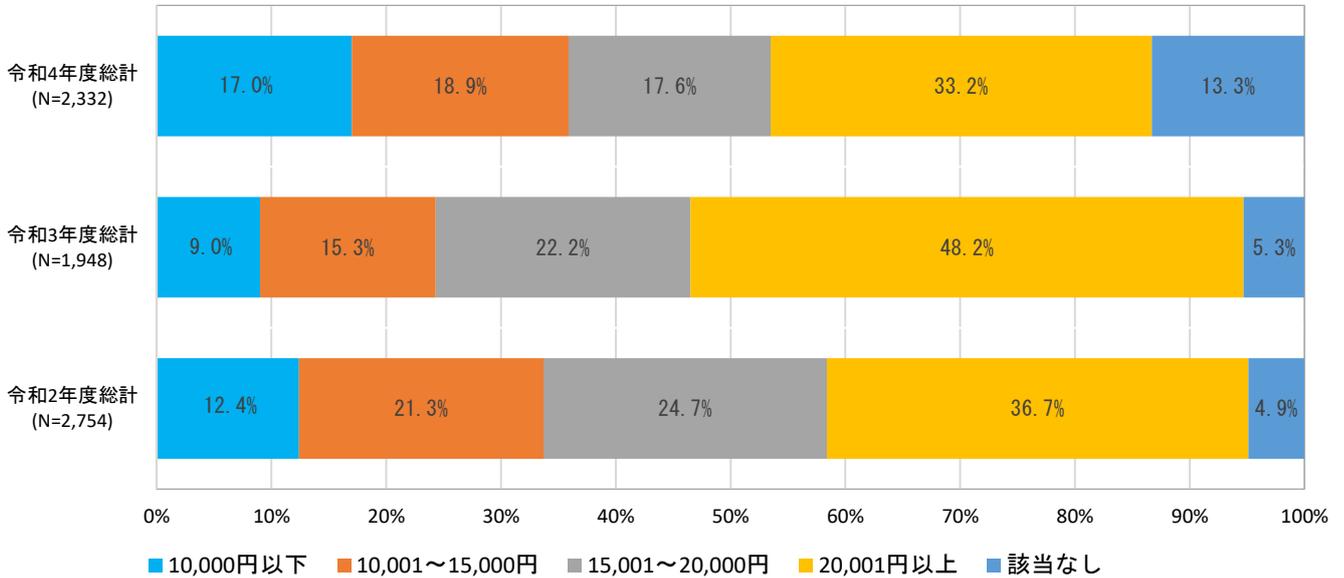
【図表 I - ②】 居住地（割合ベース）



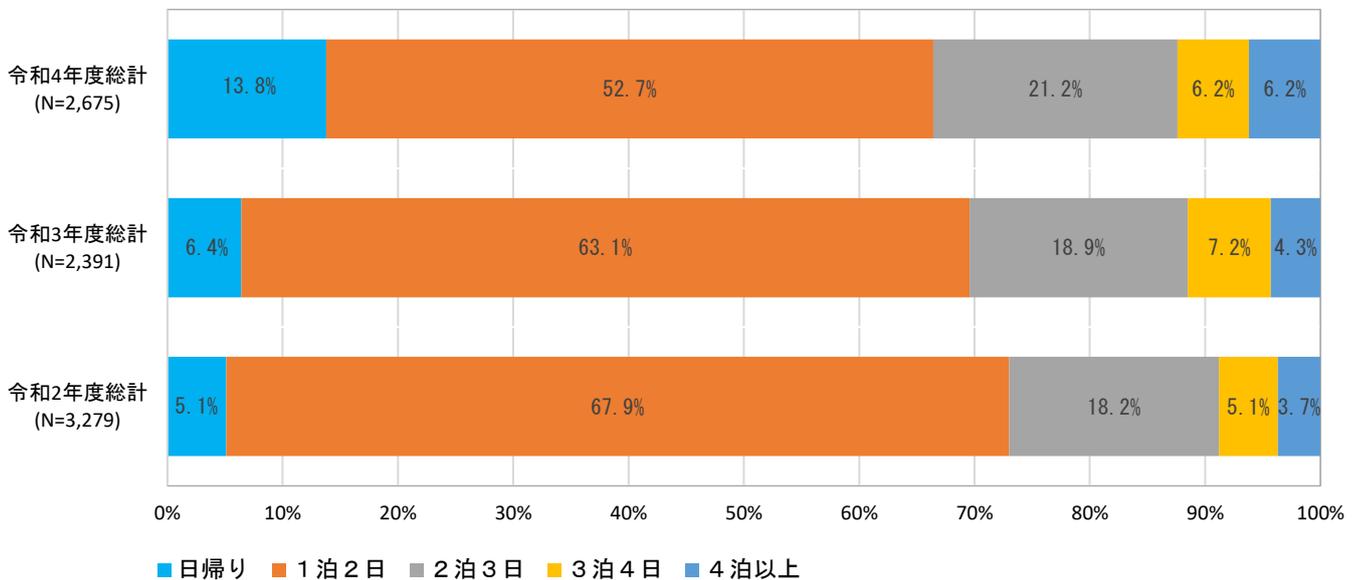
【都道府県別集計】（令和 4 年度 総計）

順位	居住地	人数 (割合)	順位	居住地	人数 (割合)
1	山形県	679 24.8%	7	福島県	126 4.6%
2	宮城県	370 13.5%	8	埼玉県	123 4.5%
3	東京都	322 11.8%	9	千葉県	120 4.4%
4	新潟県	196 7.2%	10	岩手県	51 1.9%
5	神奈川県	183 6.7%		その他	403 14.7%
6	秋田県	166 6.1%		計	2,739 100.0%

[図表 I - ③] 一人当たりの予算額〔宿泊費〕（割合ベース）

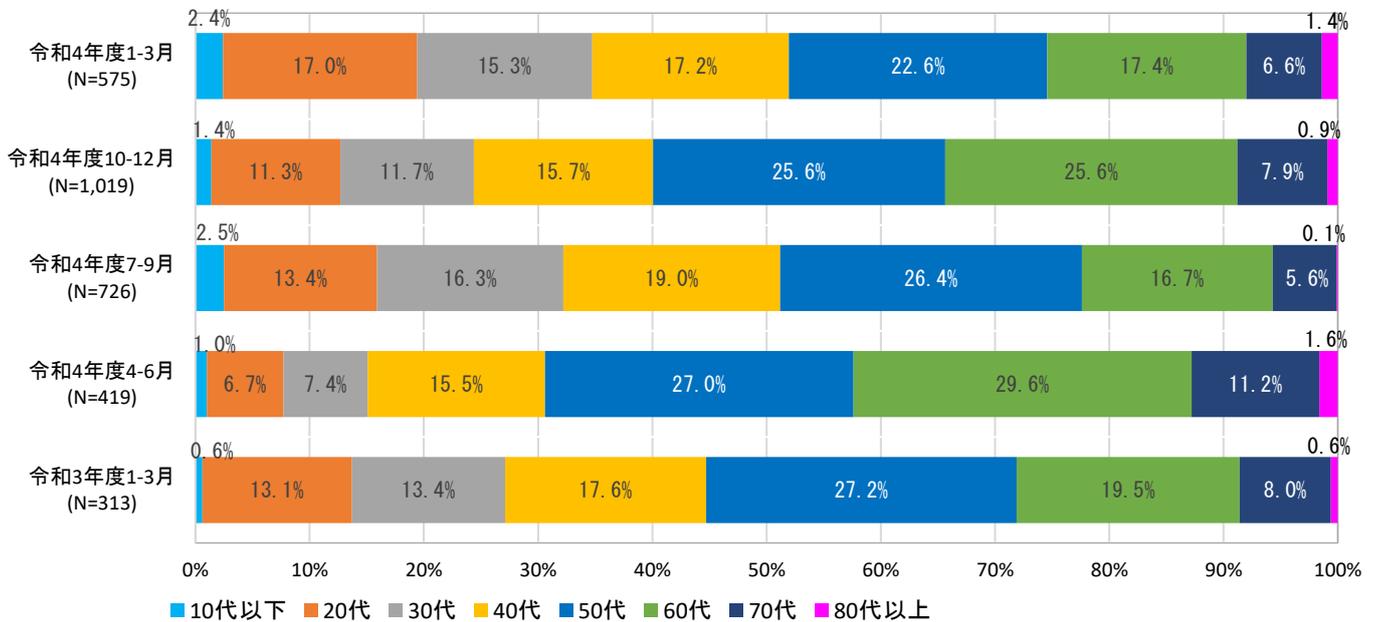


[図表 I - ④] 旅行日数（割合ベース）

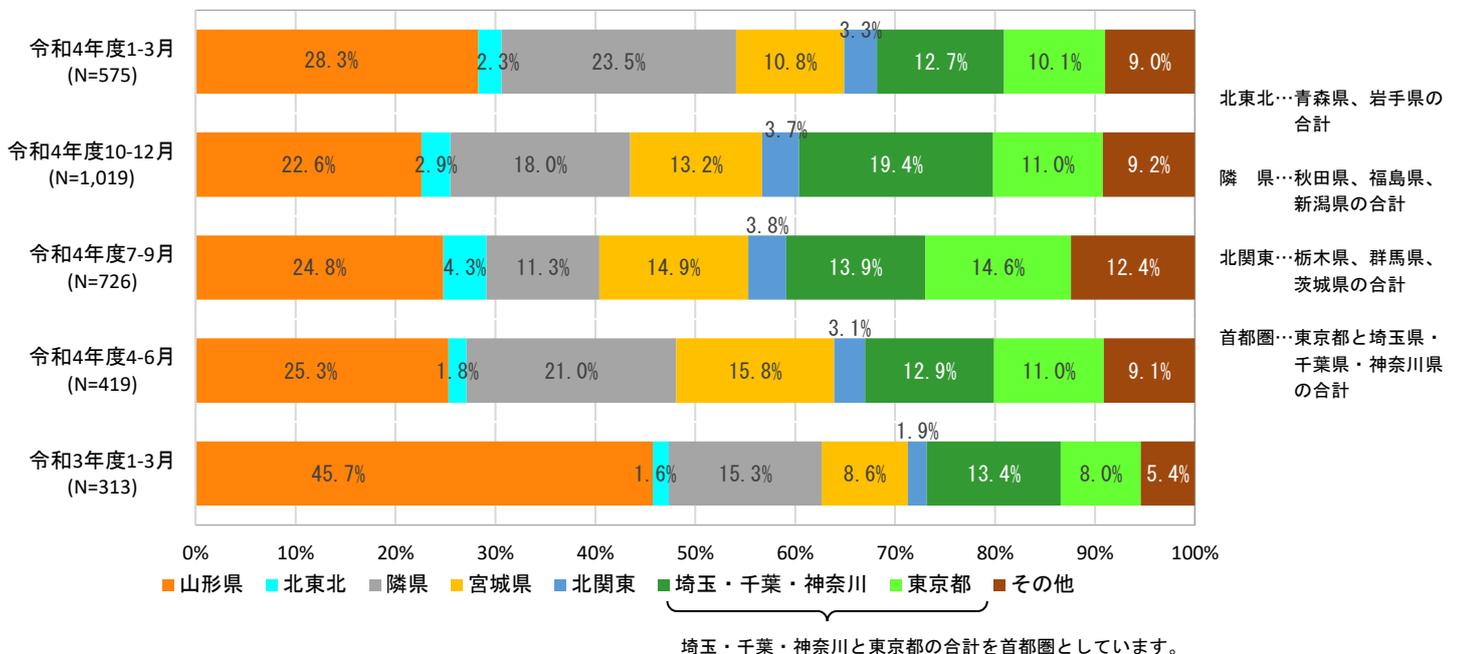


【図表Ⅱ】 令和4年度第4四半期（令和5年1月～3月期）の状況

【図表Ⅱ - ①】 年齢（割合ベース）



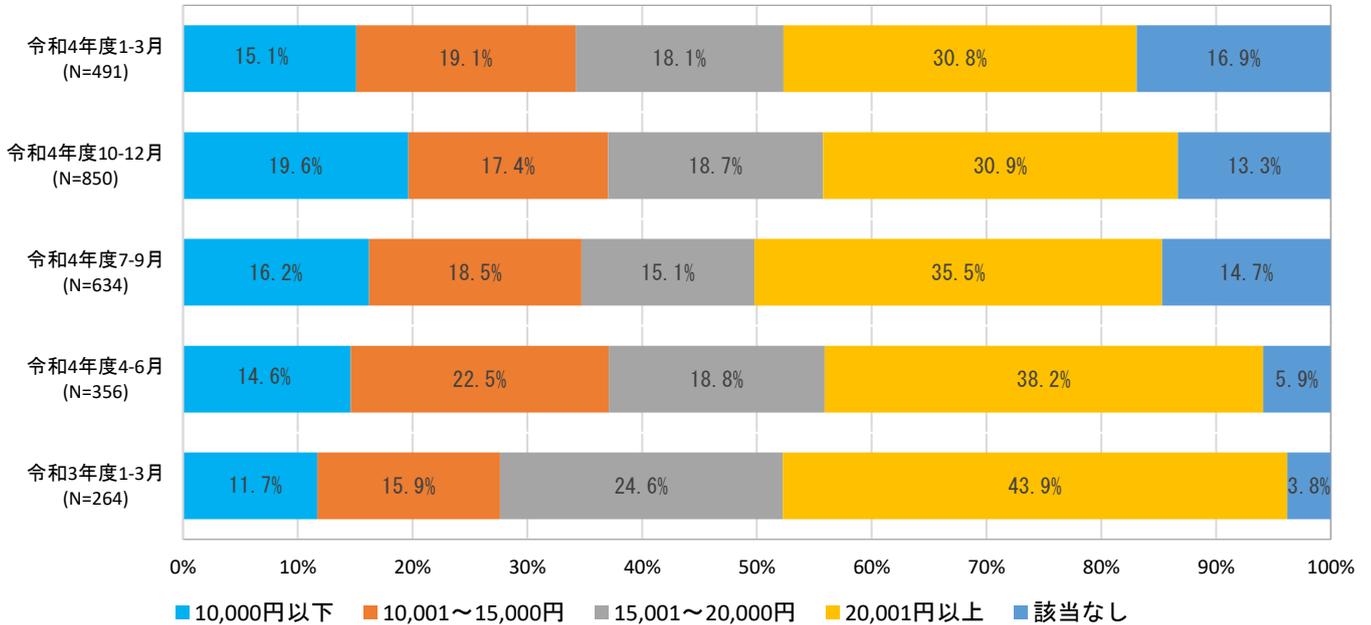
【図表Ⅱ - ②】 居住地（割合ベース）



【都道府県別集計】（令和5年1-3月）

順位	居住地	人数	割合	順位	居住地	人数	割合
1	山形県	163	28.3%	7	福島県	23	4.0%
2	宮城県	62	10.8%	8	千葉県	23	4.0%
3	東京都	58	10.1%	9	埼玉県	22	3.8%
4	新潟県	56	9.7%	10	茨城県	11	1.9%
5	秋田県	56	9.7%		その他	73	12.7%
6	神奈川県	28	4.9%		計	575	100.0%

【図表Ⅱ - ③】 一人当たりの予算額〔宿泊費〕（割合ベース）



【図表Ⅱ - ④】 旅行日数（割合ベース）

